

2023 年度 第 1 回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会 タイムテーブル

【日 時】 2023 年 5 月 27 日（土）13:00-17:00（予定）

【場 所】 新潟大学歯学部講堂および ZOOM によるハイブリッド開催（予定）

【タイムスケジュール】

12:00 受付開始

12:30 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会会員総会

13:00 開会挨拶

井上 誠先生 （にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 会長）

13:05 摂食嚥下治療登録医研修 制度説明および症例報告（10 分）

「グミ咀嚼訓練により咀嚼能力が維持できた筋萎縮性側索硬化症の一例」

座長 那小屋公太先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 宮本 重樹先生（宮本歯科医院，歯科医師）

13:20 講演 1「摂食嚥下障害を有する在宅患者の支援のために—多職種連携ツールの開発—」

（15 分講演，質疑含む）

座長 那小屋公太先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 井上 誠先生 （新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野，
歯科医師）

13:35 講演 2「小児在宅歯科医療と摂食機能障害への対応」（60 分講演，10 分質疑）

座長 辻村恭憲先生 （新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 田村文誉先生 （日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
口腔リハビリテーション科，歯科医師）

14:45 講演 3「精神疾患患者の誤嚥性肺炎リスク調査と支援の試み」（30 分講演，5 分質疑）

座長 辻村恭憲先生 （新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 清野由美子先生（新潟大学医学部保健学科看護学専攻，看護師）

15:20 企業紹介

15:50 講演 4「神経疾患の摂食嚥下障害」（60 分講演，10 分質疑）

座長 張替 徹先生 （下越病院リハビリテーション科）

講師 巨島文子先生 （諏訪赤十字病院リハビリテーション科，医師）

17:00 閉会挨拶

張替 徹先生 （にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 副会長）

講演要旨および講師略歴

「摂食嚥下障害を有する在宅患者の支援のために—多職種連携ツールの開発—」

井上 誠（いのうえ まこと）先生

（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授，歯科医師）

<抄録>

2022 年に皆様の支援をいただき完成させた多職種連携支援ツールとして，このたびクラウドアプリである OISHIEN を紹介させていただきます．本アプリの使用にあたっては，多職種がアクセスしやすく，わかりやすいものであることに加えて，食事場面や嚥下内視鏡検査などの動画を共有できること，インターネットを活用したクラウドアプリであることからセキュリティが確立していることなど多くの課題が挙げられています．2023 年 4 月からは新潟県歯科医師会とともにその運用を開始しました．患者様の支援に有効活用させていくことを目指しています．

<略歴>

1994 年 新潟大学歯学部 卒業
1998 年 新潟大学大学院歯学研究科 修了（博士（歯学））
1998 年 新潟大学歯学部口腔生理学講座 助手
1999 年 英国レスター大学 Research fellow
2003 年 スウェーデンウメオ大学 Research fellow
2004 年 新潟大学医歯学総合病院摂食嚥下機能回復部 講師
2006 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下障害学分野（現摂食嚥下リハビリテーション学分野）助教授
2008 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

「小児在宅歯科医療と摂食機能障害への対応」

田村 文誉（たむら ふみよ）先生

（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 口腔リハビリテーション科 教授，歯科医師）

<抄録>

日本では高度医療の進歩により，新生児の救命率は高く，「生まれてくる赤ちゃんが死なない国」のトップを走っています．その一方で，医療的ケア児の数も急増している現状にあります．常に医療デバイスが必要な生活を送る医療的ケア児では，歯科のニーズがあっても受診のハードルはとて高く，歯科に繋がっていない場合が多くあります．一人でも歯科に罹れない子どもをつくらないために，小児在宅歯科医療の発展は急務なのです．

<略歴>

最終学歴

1989 年 昭和大学歯学部卒業
1997 年 歯学博士

職 歴

1989 年 昭和大学歯学部 第三補綴学教室入局
1991 年 昭和大学歯学部 口腔衛生学教室入局

2001年4月～2002年3月 米国アラバマ大学歯学部 補綴学・生体材料学教室留学 を経て、
2004年 日本歯科大学 講師
2007年 日本歯科大学 准教授
2012年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション科 科長
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック勤務
2013年 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 口腔リハビリテーション科 教授

「精神疾患患者の誤嚥性肺炎リスク調査と支援の試み」

清野 由美子（せいの ゆみこ）先生

（新潟大学医学部保健学科看護学専攻 助教，看護師）

<抄録>

精神疾患患者は向精神薬や精神症状等の影響により摂食嚥下障害を合併しやすいにもかかわらず，単科の精神科病院における対応は十分とはいえません．今回は精神科病院における誤嚥性肺炎リスクの影響要因に関する調査についてご報告いたします．また，専門職不在の精神科病院における新たな摂食嚥下支援体制構築と介入の試みについてもご紹介できたらと思います．

<略歴>

1989年3月 新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業
総合病院の一般病棟，外来・手術室，透析室等勤務
2012年3月 新潟大学大学院保健学研究科看護学分野 博士前期課程修了（保健学修士）
精神科病院の病棟勤務
2014年4月 新潟大学医学部保健学科看護学専攻 助教（精神看護学）
2021年3月 新潟大学大学院保健学研究科看護学分野 博士後期課程修了（保健学博士）

「神経疾患の摂食嚥下障害」

巨島 文子（おおしま ふみこ）先生

（諏訪赤十字病院 リハビリテーション科 部長，医師）

<抄録>

神経疾患では高率に摂食嚥下障害を合併します．摂食嚥下障害は誤嚥や栄養障害，脱水症，食べる楽しみの喪失を引き起こし，疾患の予後を決定する因子となります．原疾患により治療方針や嚥下動態は異なるため，その病態に合わせて対応します．逆に嚥下障害の病態が原疾患の診断に役立つことがあります．ここでは典型的な神経疾患の摂食嚥下障害の嚥下動態について解説を行い，長野県での取り組みについて紹介します．

<略歴>

1989年6月 浜松医科大学 第一内科
1990年6月 東京都健康長寿医療センター 感染症科
1992年6月 横浜労災病院 神経内科
1996年6月 京都第一赤十字病院 神経内科
2012年4月 同院 リハビリテーション科 部長
2017年4月 諏訪赤十字病院 リハビリテーション科 部長